

助成対象活動報告シート

助成メニュー： トライアル活動助成

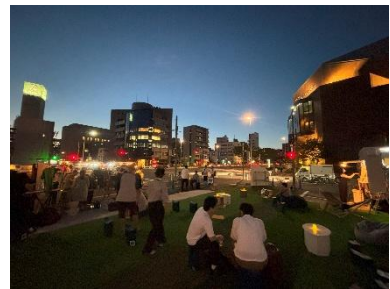
団体名： マチゾラシンサカエマチ

1 助成を受けて実施した活動

※ 活動の様子がわかる写真(数枚)を入れ込んで記入してください。

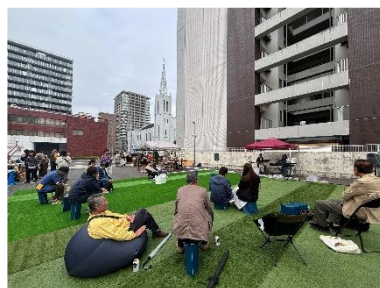
◎ マチゾラ横丁 (8/8 (金)) : 道路使用許可、露天商許可 申請

- ・ 来場者は述べ 90~100 人程度
- ・ 公共空間を活用して活動範囲を拡大し、交流・滞在できる地域の居場所創出に寄与した。



◎ マチゾラマルシェ (10/25 (土)) : 公園行為許可 申請

- ・ 来場者は述べ 80 人程度
- ・ 東区で「生涯学習まつり」「葵マチアージュ」の同時開催により、エリア回遊を促した。
- ・ Poc up school 企画との連携企画「GOBINGO！」の企画運営支援（備品貸出）



◎ となりのシバフ&となりの若手 (10/28 (火))

- ・ マチゾラシンサカエマチは、「となりのシバフ」の実施支援およびアフターイベント「となりの若手」の現場における居場所づくりを支援しました。



◎ Poc up school 企画 (11/8)

- ・ マチゾラシンサカエマチの課題テーマ「Walkable」に集まったメンバーが、遊んで学ぶゴミ拾いビンゴ「GOBINGO！」を実施。

◎ HIGASHISAKURA BLOOMING (2/11~3/1)

- ・ 「東桜エリアマネジメント協議会」主催のイベント「HIGASHISAKURA BLOOMING」の特別協力団体としてマチゾラで備品貸出を行い、公共空間（希望の広場）における居場所づくりに寄与。

2 活動の成果および目標達成度合い（●：目標）

- 公共空間を自ら活用する地域イベント事業を継続することにより、来訪及び滞在機会を増やす。
- 新たな公共空間の活用により、新栄町エリアにおいて多様な滞在・回遊・交流が生まれる機会を創出する。
→【達成度合い：100%】
地域イベントを2回実施することで、滞在・交流機会を創出し、それぞれ隣接する公共空間の使用許可を受けて、新たに地域イベント活動範囲を広げた。
- 団体の賛同者・協力者が公共空間を活用する際の支援を行う。
→【達成度合い：50%】
賛同者・協力者とともにターゲットを絞ったイベントを企画した。（天候により中止）
- 同区（東区）における活動団体との連携により活用する公共空間や活用機会をつなぐ。
→【達成度合い：100%】
同区におけるまちづくり活動団体「東桜エリアマネジメント協議会」と情報交換の場を設けた上で、特別協力という形で2/11～3/1までSRT開通を契機としたイベントを実施した。
イベントにともなって実施した取組みは以下の通りであり、地域（東区）の公共空間（希望の広場）の価値向上に資する取組みとなった。
 - 栄～新栄町エリア内に複数箇所レンタサイクルポートを設置
→自転車利用を介した回遊性の検証（新栄町エリアの民間ビルにポート設置）
 - 居心地の良い空間づくり
→マチゾラ備品（人工芝、屋外用イス・テーブル、ハンモック等）の貸出
- 取組みの効果的なPRにより、賛同・協働していただける関係人口を増やす。
→【達成度合い：100%】
10月に開催された名古屋市主催フォーラム「となりのシバフ」の開催支援を他エリアマネジメント団体とともに実施し、団体間交流が増えた。2月には名駅地区まちづくり協議会が開催する勉強会に招待され、ゲストスピーカーとしてマチゾラシンサカエマチの取組みを紹介した。
また、マチゾラシンサカエマチの取組みに賛同・協働していただける方に対し、関与の程度によって分類した3つのサポーター制度を周知し、参加を募って関係人口を増やした。

3 活動により見えた課題

- ・「東桜エリアマネジメント協議会」や「葵地区エリアマネジメント協議会」等近隣他団体と、それぞれ個人・個別の取組みのみでなく、団体同士で協力しながら地域イベントの連携や、まちづくりへの課題共有・解決が必要である。

4 今後の活動等の展望

- ・活動範囲の拡大（道路等の公共空間活用）、活動内容の発展（活用する公共空間をつなぐ）を踏まえ、新栄町エリアにおけるまちづくりの方針・構想作成を検討する。
- ・まちづくりの方針・構想作成の検討時においては、これまでの活動協力者、調整させていただいた関係機関等との意見交換をおこなう。
- ・まちづくり方針・構想に位置付ける取組みの実証事業を検討する。